⑵　国立大学法人等が獲得した附属病院収益と診療機器等に係る減価償却費見合いの資産見返物品受贈額戻入が二重になっていることによるもの

法人移行時に国から承継した資産見返物品受贈額のうち、対応する資産の減価償却費が診療経費に分類されるものに関する資産見返物品受贈額戻入額の累計　2,432,653千円

⑶　国からの承継時において、附属病院の財産的基礎と考えられる未収附属病院収入のうち、国からの出資でなく譲与としたことによるもの　982,387千円

⑷　国からの承継時において、附属病院の財産的基礎と考えられる医薬品及び診療材料について、国からの出資でなく譲与としたことによるもの　745,226千円

18,174,886千円

Ⅲ．損益計算書

１．当期総利益のうち、法人移行時における固有の会計処理等に起因するもの

⑴　国からの承継時において、附属病院の建物、構築物等の時価評価等により、借入金見合いの資産の額が、当該借入金に係る債務負担額を下回っていたこと等によるもの

附属病院に関する借入金の元金償還額　2,783,663千円

当該借入金により取得した資産の減価償却費　1,385,779千円

当期総利益に与える影響額（差引き）　1,397,884千円

⑵　国立大学法人等が獲得した附属病院収益と診療機器等に係る減価償却費見合いの資産見返物品受贈額戻入が二重になっていることによるもの

法人移行時に国から承継した資産見返物品受贈額のうち、対応する資産の減価償却費が診療経費に分類されるものに関する資産見返物品受贈額戻入額　1,465千円

1,399,349千円

Ⅳ．キャッシュ・フロー計算書

１．資金の期末残高の貸借対照表科目別の内訳

現金及び預金　48,980,420千円

２．重要な非資金取引

現物寄附による資産の取得　3,603,388千円

ＰＦＩによる資産の取得　1,645,963千円

Ⅴ．減損会計関係

１．減損を認識した固定資産

⑴　減損を認識した固定資産の用途、種類、場所、帳簿価額等の概要　（単位：千円）

用途	場所	種類	帳簿価額
舗装道路	京都府京都市	構築物	3
給排水設備	京都府京都市	建物附属設備	14
冷暖房設備	京都府京都市	建物附属設備	91
通風設備	京都府京都市	建物附属設備	140
電気設備	京都府京都市	建物附属設備	80
光学機器	京都府京都市	工具・器具及び備品	18,628
観測室	兵庫県加西市	建物	11
倉庫	福井県鯖江市	建物	5,949
車庫	福井県鯖江市	建物	2,925
舗装道路	福井県鯖江市	構築物	283
観測室	新潟県上越市	建物	482
研究室	新潟県上越市	建物	5,297
車庫	新潟県上越市	建物	91
倉庫	新潟県上越市	建物	209
給水設備	新潟県上越市	建物附属設備	0
排水設備	新潟県上越市	建物附属設備	3
電気設備	新潟県上越市	建物附属設備	3
ガス設備	新潟県上越市	建物附属設備	1
給排水設備	新潟県上越市	建物附属設備	3
飼育棟	熊本県宇城市	建物	5,173
研究棟	熊本県宇城市	建物	1,318

⑵　減損の認識に至った経緯

飼育棟及び研究棟については、新規に大型ケージを設置する計画に伴い当該資産を除却するにあたり、使用しない決定を行ったため、光学機器については、使用していた教員が他大学へ異動したことに伴い当該資産を譲渡するにあたり、使用しない決定を行ったため、その他の資産については、老朽化または改修工事等により当該年度に除却するにあたり、使用しない決定を行ったため、それぞれ減損を認識しております。

⑶　減損額のうち主要な固定資産ごとの内訳及び回収可能サービス価額の算出方法の概要

（単位：千円）

用途	種類	損益計算書に計上した減損額	損益計算書に計上していない減損額
舗装道路	構築物	—	2
給排水設備	建物附属設備	—	11
冷暖房設備	建物附属設備	—	47
通風設備	建物附属設備	—	105
電気設備	建物附属設備	—	60
光学機器	工具・器具及び備品	—	17,195
観測室	建物	—	10
倉庫	建物	5,762	—